

ニュースレター 2014年 秋号 目次

特集①：高速道路を守る。

より安全に。より迅速に。

…P.1

高速道路の安全を守るネクスコ・メンテナンス関東

1分1秒でも早い開放のために

(株)ネクスコ・メンテナンス関東 水戸事業所 藤森優司 所長…P.2

コラム：NEXCO東日本の注目「ドボジョ」

…P.3

(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 渡部恵梨香さん

特集②：高速道路を楽しむ。

SA・PAにも紅葉シーズン到来！

…P.4

NEXCO東日本がおススメする 秋のお立寄りスポット

秋のレジャーをオトクに楽しむ！

ドラ割「ググっとぐんま周遊パス」

…P.5

安心・安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

片品川橋の耐震補強工事

編集後記



特集①：高速道路を守る。『より安全に。より迅速に。』

高速道路の安全を守るネクスコ・メンテナンス関東



高速道路は日本の経済や皆さまの暮らしを支える社会基盤として、24時間365日休むことのない大動脈です。万が一、高速道路で事故や災害が発生した際には、一刻も早く交通の回復をしなければなりません。

事故等で道路が損傷した場合には補修を行う必要がありますが、この道路補修を担うスペシャリスト集団が、(株)ネクスコ・メンテナンス関東です。今回は同社の中で最も長い路線延長を担当する、水戸事業所の活動の一端をご紹介します。

命がけの事故復旧作業はほぼ毎日行われている

水戸事業所では、常磐道、北関東道、東水戸道路、東関東道の合計144.1kmの維持修繕業務を担当しています。管内では、今年の4月以降に補修を必要とする道路損傷事故が約110件ほど発生しており、これらの事故復旧作業のため、スタッフは日夜を問わず日々作業を行っています。

今回の取材で同行した作業現場は、常磐道で発生した事故の復旧で、作業内容は中央分離帯のガードレール4枚とその支柱を取り替えるものでした（幸いにもこの事故による負傷者はありませんでした）。この作業は、平日の午前中に上下線の追い越し車線を規制して行われましたが、車線を規制するラバコーンを挟んですぐ隣の車線では、ひっきりなしにビュンビュンとお客さまの車両が高速走行している、まさに危険と隣り合わせの状況。作業を担当するスタッフは、安全に気を遣いながら、迅速に作業を進めていました。

かつては、支柱を1本引き抜いただけでも丸一日かかってしまうこともありましたが、同社では様々な工夫を取り入れ、今回の現場では約3時間ほどの作業で事故前の状態に復旧することができました。

高速道路を利用されるお客さまへのご不便はできるだけ少なく、そして万が一の二次災害が起らないように最大限安全に配慮しての作業を実現するために取り入れている「工夫」を次ページでご紹介いたします。

万が一の事故や故障の際には・・・

<高速道路における緊急時の対処法>

：高速道路でやむを得ず車両を停止する場合は以下の対処をお願いします

- 高速道路は一般道とは違います！絶対に路上に立たない、歩き回らない！
- 後続車の運転手に合図を！①ハザードランプ点灯②発煙筒着火③停止表示機材設置
- 安全な場所へ避難！車内は安全ではありません。ガードレールの外側などに避難を！
- 避難してから通報！①110番②非常電話③道路緊急ダイヤル（#9910）へ！



『1分1秒でも早い開放のために』 使命から生まれた工夫

高速道路の作業は、利用する皆さまの利便性を損なわないよう、最小限の交通規制の範囲で、少しでも早く規制解除ができるよう、効率よく、安全を十分に確保して作業を行う必要があります。(株)ネクスコ・メンテナンス関東では、1分1秒でも早い開放を、そして可能な限り安全な作業を実現するために、各スタッフが様々なアイデアを持ち寄り、そのアイデアを実際の作業現場に投入しています。今回の取材に協力していただいた水戸事業所で実際に採用されている“秘密道具”のいくつかをご紹介します。

秘密道具① 高速道路のハイパーレスキュー

「事故緊急対応車両」

今回の作業でも活躍したこの車両は、平成25年7月に導入され、初めて緊急指定を受けた事故対応車両。資材・機材・工具をあらかじめ積載装備することで、速やかに出動対応できるようになりました

【主な装備アイテム】

夜間照明装置、防護柵等の補修用機材、燃油漏れ対応資材、路面洗浄装置、油圧クレーン、電動ウィンチ、その他各種工具



秘密道具②

「支柱引抜機」

事故緊急対応車に搭載されている「支柱引抜機」は、事故の衝撃で曲がってしまったガードレール支柱も、あっという間に引き抜けるので作業の効率化に貢献しています



秘密道具③

「視認性の高い規制材」

高速道路での誘導や規制は、できる限りモノを使用することが安全性の確保につながります



秘密道具④

「用心棒」

車両誘導スタッフの前後に置くことで、万が一作業車両がバックしてきたときに、運転手が気が付きます



～何でも前向き
いつも笑顔の絶えない水戸事業所です～

- 氏名 藤森 優司 所長
- 現所属 (株)ネクスコ・メンテナンス関東 水戸事業所

作業の安全性と効率性を高めることが、お客さまへの還元

藤森所長は仕事の喜びについて「毎日毎日、無事が一番」と言います。

(株)ネクスコ・メンテナンス関東水戸事業所は、先の東日本大震災の際には関東支社管内の最前線として道路の復旧に活躍し世界的にも注目を浴びましたが、実は当社の業務は事故や災害からの復旧だけでなく、例えばSA・PAの植栽や清掃業務なども含まれており、およそ150名のスタッフで、担当する144.1kmの高速道路をいろいろな側面から“守る”仕事をしています。

今回のニュースレターでは、高速路線上での事故復旧作業をご紹介しますが、藤森所長は、朝現場に出て行ったスタッフがみんな無事に帰ってきてくれることが一番うれしいと言います。それだけ危険と隣り合わせの仕事だということでしょう。

お客さまに高速道路を安全・安心・快適・便利にご利用いただくためには、当社の業務は必要不可欠であり、高速道路の維持管理業務を毎日無事に行わなくてはなりません。ネクスコ東日本グループでは、安全で安心な高速道路のために、より一層の作業の安全性と効率性を高める取り組みをこれからも続けてまいります。



「事故緊急対応車両のような技術開発も、高速道路を利用いただくお客さまの利便性向上の一環です。」
(写真右：石井保全課長)

快適な高速道路にも一役買っています

水戸事業所では、社会福祉協議会と連携して、障がい者施設で育てられた花の苗やプランターカバーなどを休憩施設などに利用するなどして地域の皆さまとの交流も推進しています。お近くをお通りの際にはぜひご覧ください。



『ひとつ先を読む。』常に前向きな「ドボジョ」の高いプロフェッショナル意識。

何事にもポジティブ

渡部さんにこれまでのお仕事についてお話を伺ったのですが、その答えに共通しているのが「ポジティブ」だということでした。

「小さい頃からモノづくりが大好きで、中学校でも技術の時間には張り切っていました」と、天性の『ドボジョ』気質を発揮していた渡部さん。工業高校の建設工学科へと進学後も、コンクリートを練ったりという極めて土木系な実習も「おもしろいなあ」と思っていたそうです。専門的な技術を学ぶうち「現場で働きたい」という思いが強まり、(株)ネクスコ東日本エンジニアリングへと入社しました。

最初に配属された道路技術課という部署では、上信越道のノリ面の性状調査などを担当し、山奥の現場に1週間近く“山籠もり”するような現場もあったのですが、この経験についても「この経験があったからこそ、今の仕事でも体力的に負けない土台ができました」と明るく当時を振り返っています。

「毎日が新発見」の大規模な施工管理

こうして入社1年目のハードな現場仕事をものともせず、2年目以降は東北道、圏央道を管理する加須管理事務所において道路の舗装改良や標識の更新などの経験を積み、平成25年春からは現職の東京外環工事事務所に配属されました。

同事務所では首都圏の渋滞緩和や環境改善、円滑な交通ネットワークの実現が期待される「東京外かく環状道路」(外環道)の建設を担いますが、そのスタートとなる大泉地区の準備工事の施工管理を配属直後の渡部さんが担当することになりました。

それまで大規模な施工管理の経験がなかったという渡部さんですが、図面や資料の読み方などを上司の武井課長はじめ、先輩方に仕事を教わりながら、手探りで進めた一大プロジェクトの1年8か月も「毎日毎日、新たな発見があり、楽しかったなあ」と笑顔で振り返ります。



事務所会議室にて渡部さんがこれまで担当した外環道建設工事の概要説明



渡部さんが施工管理を担当したランプ橋梁下部工(大泉地区)

事務所内では、笑顔で周りを和ませる渡部さんですが、仕事の打ち合わせの際には「怖い顔」がでることもあるそうです



「点検ならば私に訊け」という存在に

どんなに大変な業務でも、前向きに乗り越える渡部さんが今後取り組みたい仕事は『点検』だそうです。その理由は2つあり、1つは入社当時は東日本大震災直後で、新人のため現場に出ることができず「会社のために貢献できなかった」という、悔しい思いがあったからだそうです。もう1つは「作る」の次にある「守る」ことが今後の大きな使命となるため、様々な点検業務に携わることで会社に貢献したいと考えているためだそうです。

「ひとつ先を読む。」

渡部さんが仕事をするうえで心がけているというのが「ひとつ先を読む」ことです。自分の状況を把握して、次に何をすべきかを考えることで、少しずつ仕事の全体像がわかるようになってきたそうです。高速道路の未来を支える頼もしいドボジョに成長していただけることに間違いはないでしょう。



- 氏名 渡部 恵梨香(わたべ えりか)さん
- 出身 茨城県下妻市
- 現所属 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング
三郷道路事務所 東京外環(工)施工管理課
- 経歴 平成22年4月入社
平成25年4月より現職

■東京外かく環状道路について

東京外かく環状道路は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する首都圏の交通ネットワークを支える延長約85kmの道路であり、首都圏の渋滞緩和、環境改善や円滑な交通ネットワークを実現する上で重要な道路です。

このうち、関越道から東名高速までの約16kmを、ほぼ全区間トンネル構造で繋ぐ計画であり、NEXCO東日本では、国土交通省、NEXCO中日本と共同で事業を進めています。

昨年6月より大泉JCTにおいて準備工事を行っていましたが、今年9月に竣工。引き続き、立坑工事やシールドトンネル工事などへと事業が展開していく予定です。



特集②：高速道路を楽しむ。 SA・PAにも紅葉シーズン到来！

NEXCO東日本がおすすめする秋のお立寄りスポット



暑かった夏が終わり、秋の深まりを感じる今日この頃。
今年の秋は暖かった日が続いていましたが、ここ数日でググッと冷え込んで、
いよいよ山々が色づき、紅葉の季節がやってきました。

紅葉の名所で鑑賞も良いですが、実は高速道路のSA・PAにも秋を感じるスポット
がございます。いつも通り過ぎてしまうSA・PAで、秋の訪れを身近に感じ、
日本の秋の美しさを堪能してみませんか？

①姨捨SA①



今年3月にリニューアルオープンした姨捨SA（上り線）
眼下に広がる善光寺平は、昼間は紅葉、夜は千曲市街の夜景と姿を変え、
『1日見ても飽きない』と多くのNEXCO東日本社員がお勧めする
絶景です。

②那須高原SA⑦

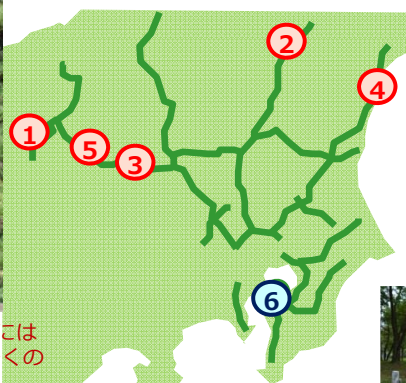


ドラマチックエリア那須高原（下り線）
商業棟前に立つシンボルの「大クヤキ」。舞い散る落ち葉の
下、テラスベンチで温かいコーヒーでもいかがでしょう？

③横川SA④



紅葉シーズンには多くの方が訪れる信濃路横川SA④には
日本庭園、東部湯の丸SA⑤には展望台と、SA内で多くの
木々の紅葉が楽しめます。



④中郷SA⑦



中郷SA（下り線）

紅葉に彩られた散歩道には、地元北茨城出身の
詩人・野口雨情の『赤い靴』の歌碑と鐘が。
なんとなく物悲しい音色が、秋の深まりを
感じさせてくれるでしょう。

⑤東部湯の丸SA⑤



⑥海ほたるPA



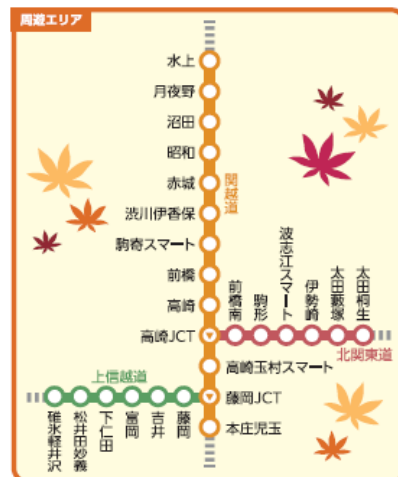
秋から冬にかけて空気の澄んだ朝方など、5階展望デッキから、横浜
の街並みの向こうに丹沢山地、富士山がくっきり。富士山撮影の定番
スポットとして、多くのカメラ愛好家が訪れます。まずは5階デッキ
で。寒くなってきたら、4階海の回廊（室内）からご覧ください。



■「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録おめでとう！

ドラ割「ググっとぐんま周遊パス」好評発売中！

NEXCO東日本関東支社では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念して、ドラ割「ググっとぐんま周遊パス」を発売しております。本ドラ割は、周遊エリア内の高速道路が定額で乗り降り自由にご利用いただけるもので、秋の行楽シーズンにぴったりのお得な商品です。また、富岡製糸場の見学料割引などお得な優待特典も多数あり、大変お得です。世界遺産をはじめ、自然、温泉やグルメなど心にググっとくる魅力がいっぱいのぐんまへ、秋のドライブに是非ご利用ください。



(写真提供：群馬県)



実施期間	平成26年9月13日(土)～12月19日(金)
有効期間	実施期間のうち、連続する最大2日間 (日帰りでのご利用もできます。)
対象車種	ETC車限定 普通車または軽自動車等(二輪車含む)
販売価格	普通車 2,100円 軽自動車等 1,700円

往路、復路の『周遊エリア』境界ICとの間は別途、周遊エリア外料金として通常の料金（ETC時間帯割引が適用される場合は、ETC時間帯割引適用後の料金）をお支払いいただきます。

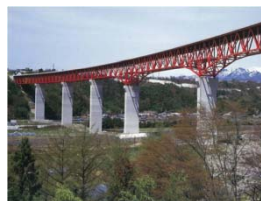


谷地なつみ
(ドラ割担当)

今回は特に、ご宿泊でご利用いただける優待特典を多数ご用意しました！
昼間はたっぷり「ドライブ」を楽しんでいただき、夜は温泉大国「ぐんまの温泉」で、日頃の疲れを癒していただければ幸いです。今後も群馬県のみならず各地で魅力的なドラ割をご用意してまいりますのでご期待ください！

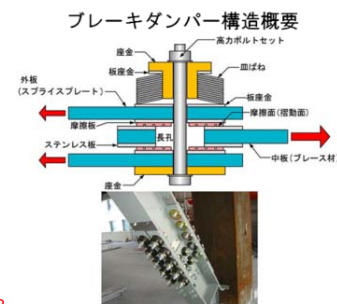
安心・安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

NEXCO東日本 関東支社では、関越自動車道（昭和IC～沼田IC間）片品川橋の『耐震補強工事』を進めています。片品川橋は一級河川 片品川を横過する 橋梁延長 1033.85m、最大橋脚高 69.4mの鋼 3 径間連続トラス橋で、供用から約 30 年が経過する長大橋です。



【片品川橋】

今回の耐震補強工事では新たな取り組みとして、(株)大林組と共同研究を重ね、摩擦型制振装置「ブレーキダンパー」(右図)をトラスの斜材に52基を組み込みます。これにより、地震時の斜材の変形や座屈を防ぐとともに橋梁全体の振動を低減する効果が期待されます。



出典：(株)大林組HP

ブレーキダンパーの施工は本年12月からを予定しております。
工事内容のお問い合わせや見学の希望などについては、広報課までご連絡ください。

編集後記

はじめまして。8月より広報課に参りました戸部道大(さいたま市出身)と申します。今号より、ニュースレターの作成に携わることになりました。どうぞ宜しくお願いします。さて、秋と言えば食欲の☆☆と書きたくなる所ですが、今回は、アジア大会も閉幕し、国内でいよいよ佳境を迎えるスポーツにちなんだ私の休日の過ごし方をお伝えします。

早朝より、埼玉県K市の某サッカー少年団に通う長男(小4)に付き添い、ひたむきにボールを追いかける彼らに対し、自分の熱き思い(重い)を伝えようと率先して父親業に励んでおります。もし、試合会場などで見かけた際には、そっと声を掛けていただければ幸いです(嬉)。お父さん方、この時期の飲み過ぎ・食べ過ぎは「イエローカード」です。私自身も気を付けます。

なお、当ニュースレター以外の内容でも何か気になる点等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

《当ニュースレターに関するお問い合わせ》

NEXCO東日本 関東支社 広報課 TEL:03-5828-8347 (報道専用)

